

+++ 平成26年10月25日(土)2日目 +++

今日は、「青少年赤十字国際交流会 in 山口」をニューメディアプラザ山口にて開催しました。県内の青少年赤十字加盟校などが集まり、趣向をこらした“出し物”が英語で行われ、ラオス高校生との多様な交流・交歓が行われました。

司会は、徳山高等学校の沖本翔太郎君と、華陵高等学校の田村美奈さんに務めていただき、2人の「ジャッキー&パイ、come on！」の掛け声でラオスメンバー入場！みんな少し緊張してるかな・・・？



続いて、山口県青少年赤十字指導者協議会 檜垣英夫会長（華陵高等学校長）、日赤山口県支部 高木邦生事務局長が英語で開会の挨拶を行いました。

さて、ここからは、高校生たちの出番。

書道パフォーマンス

トップバッターでパフォーマンスを披露してくれたのは、山口高等学校書道部のメンバー。音楽に合わせ、大きな半紙に「友愛」と力強く書いてくれました。迫力満点のパフォーマンス。ラオスメンバーもカメラでしっかり撮っていました。



そして、ラオスメンバーが書道に挑戦！！初めて使う筆に戸惑いながらも、上手に「ラオス」「日本」と書きました！会場からも「Good job！」など歓声が上がリ、ラオスメンバーも笑顔♪



紙芝居上演

徳山高等学校JRC部メンバー、宇部商業高等学校JRC部メンバーによる「紙芝居」の上演。

昨年度実施した「赤十字紙芝居コンクール」の創作物語部門で優秀賞を受賞した徳山高等学校の「つながるきもち」、歴史部門で最優秀賞を受賞した宇部商業高等学校の「赤十字のはじまり」がそれぞれ英語で披露されました。



ラオスメンバーからのプレゼンテーション

パイから、ラオスの国のこと、ラオス赤十字社の活動などが紹介されました。

ジャッキーは、パービアンという民族衣装に着替え、ラオスの歌を披露してくれました。

会場内もいつの間にか手拍子が始まり、会場が一体となりました。



山口大学学生赤十字奉仕団による活動紹介



義援金の募集や献血の呼びかけなど、赤十字ボランティアとして、活動している様子を報告しました。

参加していた高校生たちは、大学生からの発表にとっても興味深そうに聞いていました。

ペルー民族楽器演奏

岩国高等学校坂上分校の木村莉那さんによるペルーの民族楽器「チャランゴ」の演奏。

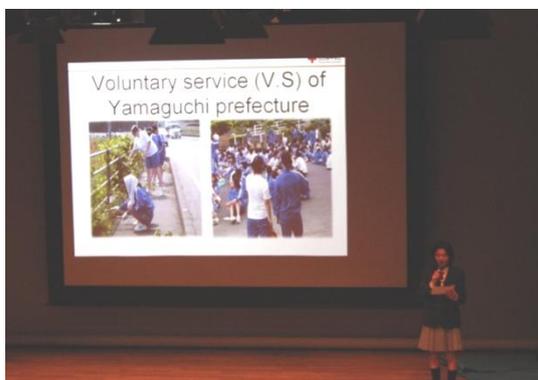
木村さんの華麗な指さばきとチャランゴの優しい音色に魅了されました。



地域の紹介

華陵高等学校メンバーからは、清掃活動や福祉施設の訪問など、JRC活動の報告や下松市の「きつねの嫁入り」などが紹介されました。

続く、萩高等学校JRC部メンバーからは、萩市の観光名所や特産品が紹介されました。



活動紹介&レクリエーション

響高等学校JRC部メンバーからは、募金活動や献血の呼びかけなどの活動報告がありました。

そして、レクリエーションでは、全員で「じゃんけん列車」をしました。

初めての「じゃんけん」、また、最初はバラバラで短い列車だったのが、だんだんとつながり、長い列車になっていく様子にジャッキーとパイも楽しんでいる様子でした。



楽しかった交流会もいよいよフィナーレ。

マイケルジャクソンの「Heal the World」を合唱しました。

山口県の高校生とラオスの高校生が「赤十字」でつながり、みんなで一つの輪を作り、歌っている光景は、とても感動的でした。



そして、全員で写真撮影をして、閉会となりました。

みんな最高の笑顔でした！！



閉会・・・せっかく出会えたラオメンバーとお別れの時・・・

交流会が終了してからも、参加者は、写真を撮り合ったり、会話をしたり、ラオメンバーとの交流を最後まで楽しんでいました。

照れくささや、英語に自信がないなどで、なかなか話しかけられなかった生徒も、勇気を振り絞って、身振り手振りを交えながら、会話を楽しんでいる姿はとても微笑ましかったです。



今回のこの交流会では、高校生は発表するだけでなく、会場の準備、受付、司会、後片付けなどたくさん協力してくれました。



皆さんを笑顔でお出迎え♪



パネル展示も準備OK

発表のために、一生懸命、英語の練習をしたり、資料を作ったり・・・高校生のパワーを感じることができた1日でした。

この度の交流会が参加者みなさんの「国際理解・親善」を深める良いきっかけになっていることを願っています。

ジャッキー&パイ 今後の日程について・・・

10月27日(月)～は、県内の学校等を訪問し、授業に参加するなどして学生と交流を深めます。

その様子は後日アップします！どうぞ楽しみに！